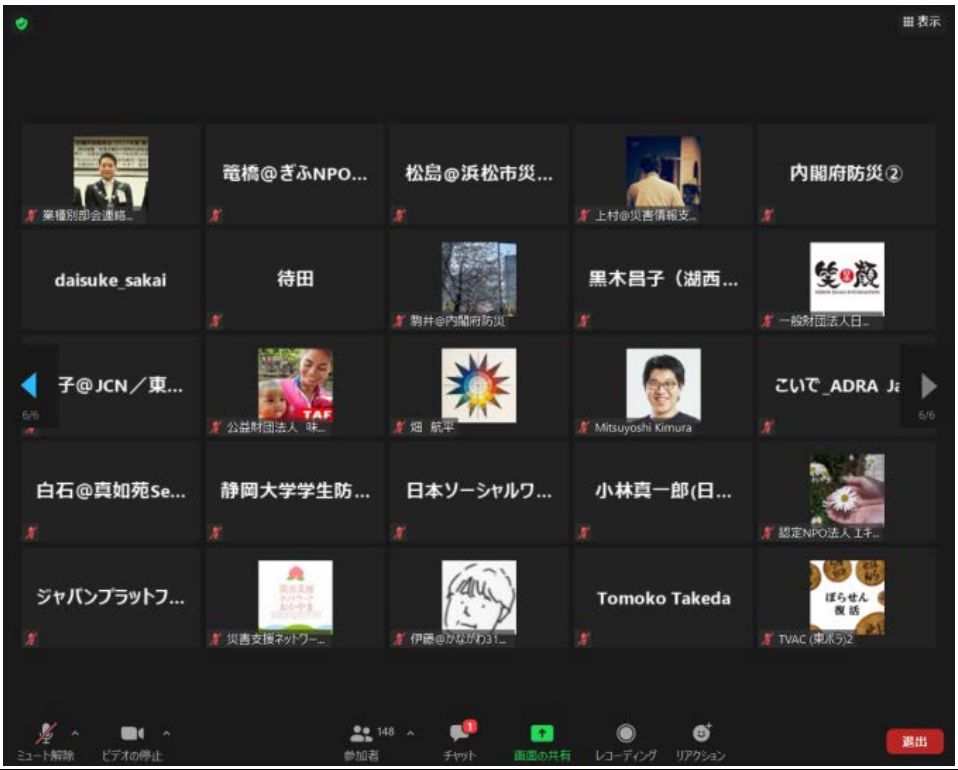
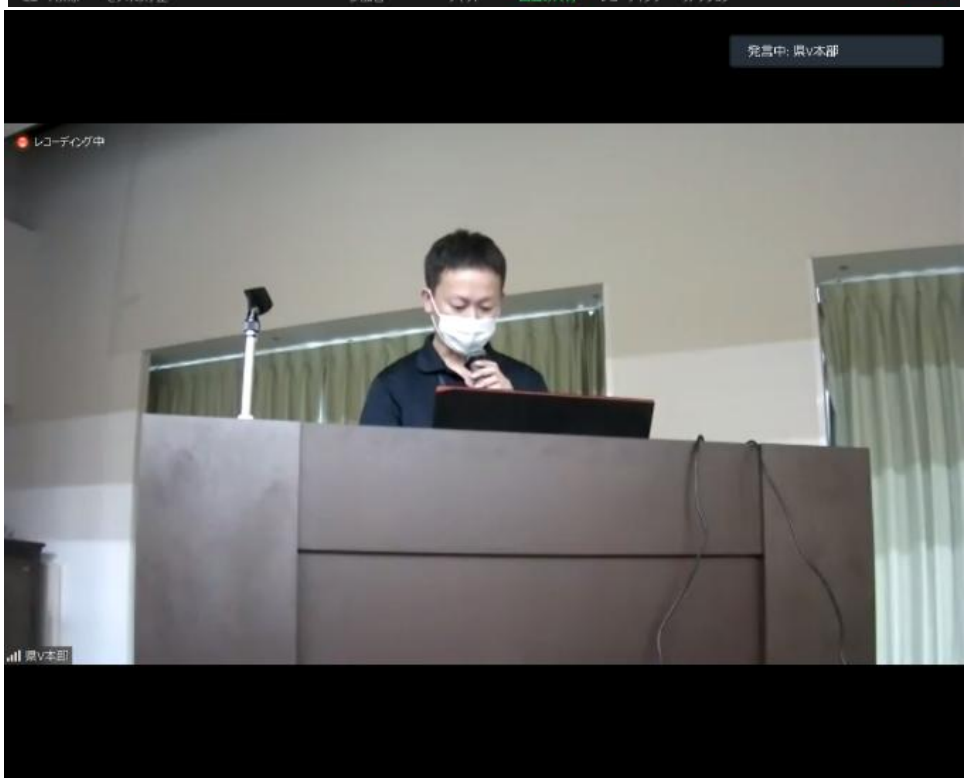
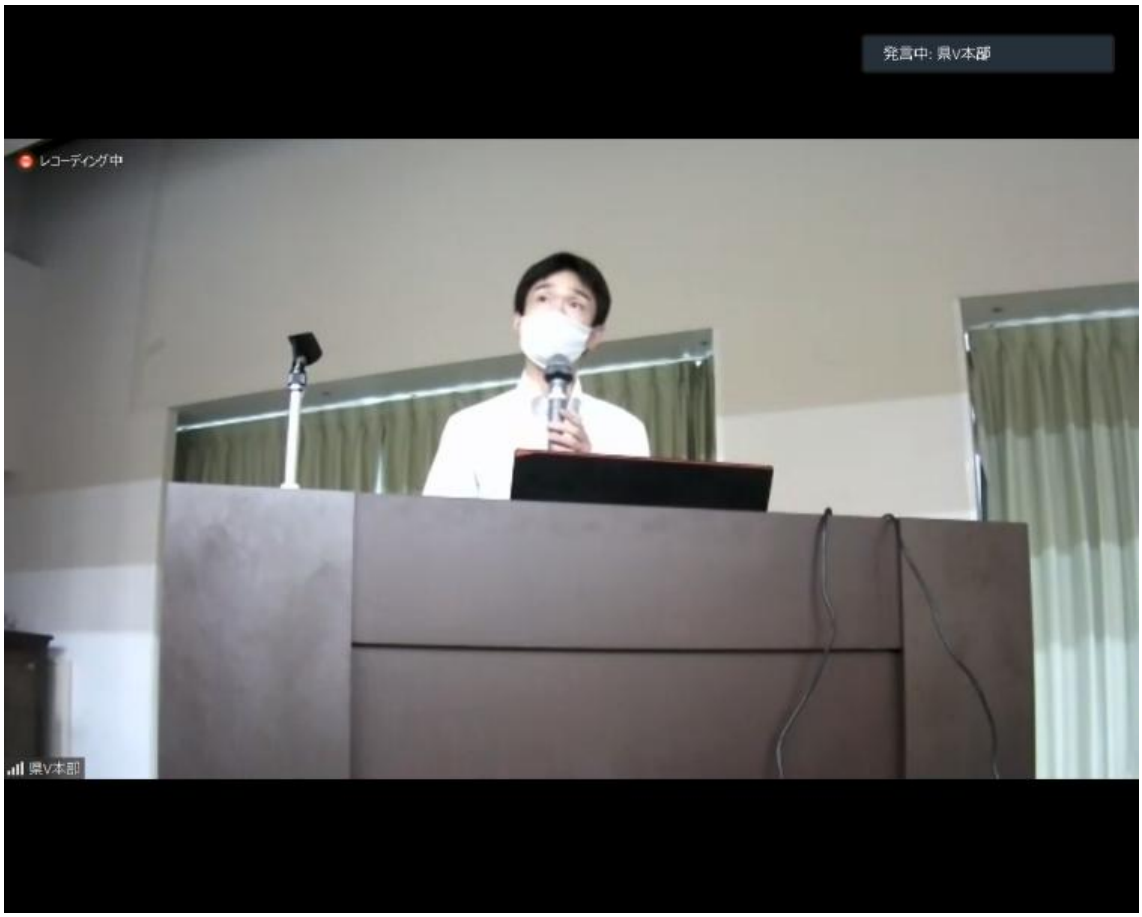
第一回　ふじのくに災害支援者会議

2021 年 7 月 9 日　清水幸次

１．開催日時：2021 年 7 月 9 日（金）16:30～17:30
２．場　　所：各拠点会議室＋オンライン参加（約 200 名）　計約 300 名
３．参加状況、共有資料：次の通り






発言中: 県V本部
レコーディング中
県V本部

発言中: SONOZAKI Shuji (園崎...
レコーディング中
表示
SONOZAKI Shuji (園崎秀治)@オフィス園崎
ミュート解除
ビデオの停止
202
参加者
チャット
画面の共有
レコーディング
リアクション
退出

発言中: 熱海市災害VC
表示
熱海市災害VC
ミュート解除
ビデオの停止
199
参加者
6
チャット
画面の共有
レコーディング
リアクション
退出

発言中: 鈴木まり子@FAJ・静岡...
レコーディング中
鈴木まり子@FAJ・静岡茶の国会議

発言中: 県V本部

本日の目的

令和3年7月1日(木)から3日(土)の大雨により、静岡県東部地域に
甚大な人的被害、建物被害が発生しております。
そのため、静岡県災害ボランティア本部・情報センター(県V本部)を
7月3日(土)に立ち上げ、必要な情報収集を進め、対応にあたっています。
この災害対応にあたり、県内外から多くの支援の申し出がある中、
支援を考えている団体のみなさまに現状を伝えることにより、
今後の支援活動に備えていただくことを目的として
本日、ふじのくに災害支援者会議を実施いたします。

レコーディング中

発言中: 県V本部

本日のながれ

◆ 県V本部からの報告

令和3年7月静岡県東部豪雨の被害状況

県V本部および災害VC等の対応状況

◆ 熱海市の状況説明

◆ 質疑応答

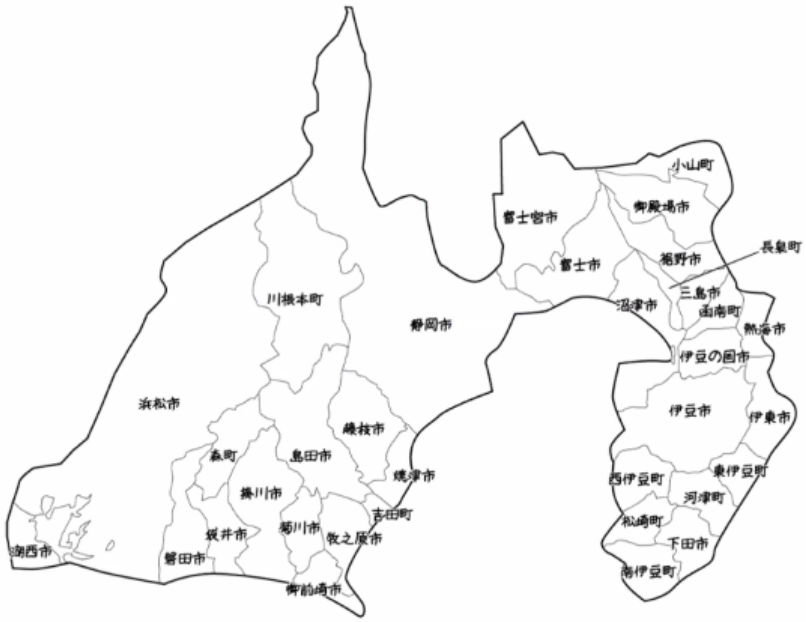
レコーディング中

発言中: 県v本部

令和３年７月
静岡県東部豪雨の被害状況

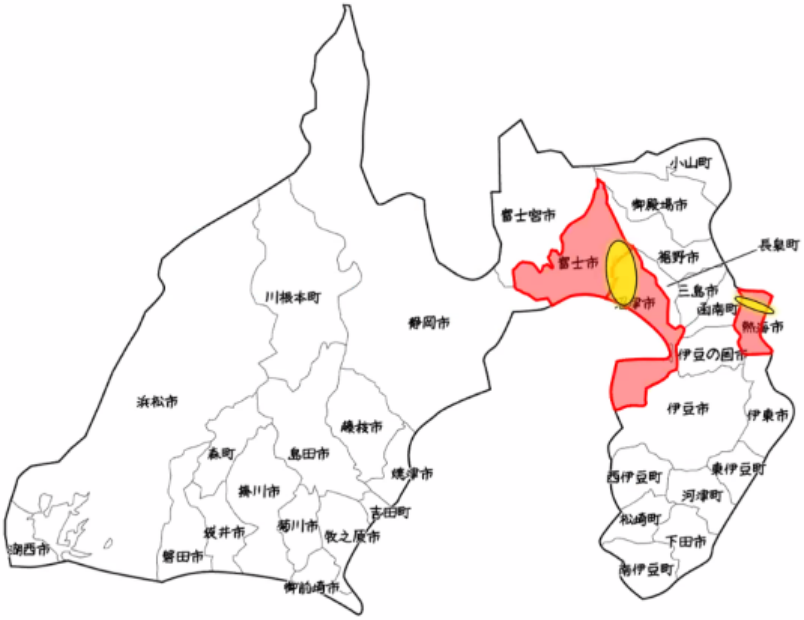
レコーディング中

発言中: 県v本部



レコーディング中

発言中: 県V本部

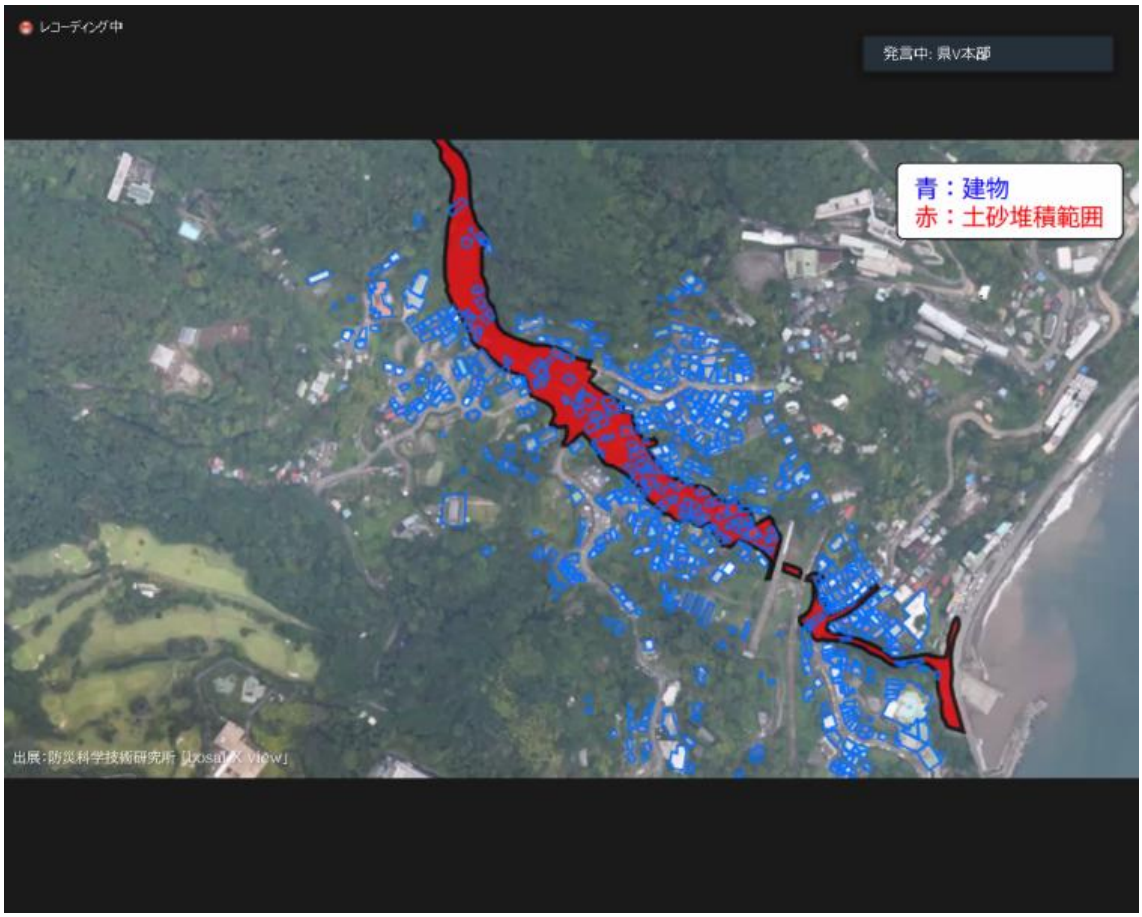


レコーディング中

発言中: 県V本部

レコーディング中
発言中: 県v本部
沼津市の被害状況
床上浸水８８戸　床下浸水２４８戸
静岡県「７月１日からの大雨等による被害状況について」より

レコーディング中
発言中: 県v本部
富士市の被害状況
床上浸水２３戸　床下浸水６２戸
静岡県「７月１日からの大雨等による被害状況について」より


レコーディング中
発言中: 県v本部
青：建物
赤：土砂堆積範囲
出展:防災科学技術研究所「Disaster View」

レコーディング中
発言中: 県v本部
熱海市の被害状況（7月9日現在）
死者 9 名　安否不明者 2 0 名
被害棟数 1 3 1 棟
熱海市「熱海市伊豆山土砂災害」より

レコーディング中

発言中:

レコーディング中

発言中: 県V本部

県Ｖ本部および
災害ＶＣ等の対応状況

レコーディング中

発言中: 県VV本部

静岡県災害ボランティア本部・情報センターとは

静岡県内全域を対象に、ボランティア活動の支援をおこなう広域拠点です。

- 情報収集および発信
- 連絡調整
- 支援団体間の連携促進
- 県域の対外窓口
- 市町支援チームの派遣

レコーディング中

発言中: 県VV本部

沼津市

市役所と連携して
「地域ささえあいセンター」
立ち上げ

富士市

7月6日
「災害ボランティアセンター」
立ち上げ

両市とも地元の力を中心に活動に取り組んでいます！

レコーディング中

発言中: 県VC本部

熱海市災害ＶＣについて

7月5日に市役所と連携して

「災害ボランティアセンター」を立ち上げ

情報収集・ニーズ把握に努めています。

自衛隊等による救助活動が行われているため、被災地の調査が十分におこなえず、現時点でボランティア活動は実施に至っておりません。

レコーディング中

発言中: 県VC本部

R03.7.7　静岡 DWAT 活動記録

活動者：静岡 DWAT 登録員：川奈臨海学園　山田氏、エクレシア南伊豆　本村氏

事務局：松永

8：30　熱海駅到着　レンタカー移動

8：45　ニューフジヤホテル到着

9：20　朝ミーティング(保健師・看護師・DWAT)　途中から DMAT も参加

・避難者 490 人(部屋数：198 部屋)

・食事券(朝食、夕食)で人数と安否確認を行う

・薬(処方箋)の当番薬局を作成した(輪番制)

夜間対応の看護師から申し送り(7/6 夜から看護師３名が夜間対応)

(避難者からの相談)

・寝れない。普段の血圧は 140 台だが測ると 190 台であった。

⇒日中の診察での受診をお願いした

・便が出ない⇒摘便をする

レコーディング中

発言中: 県V本部

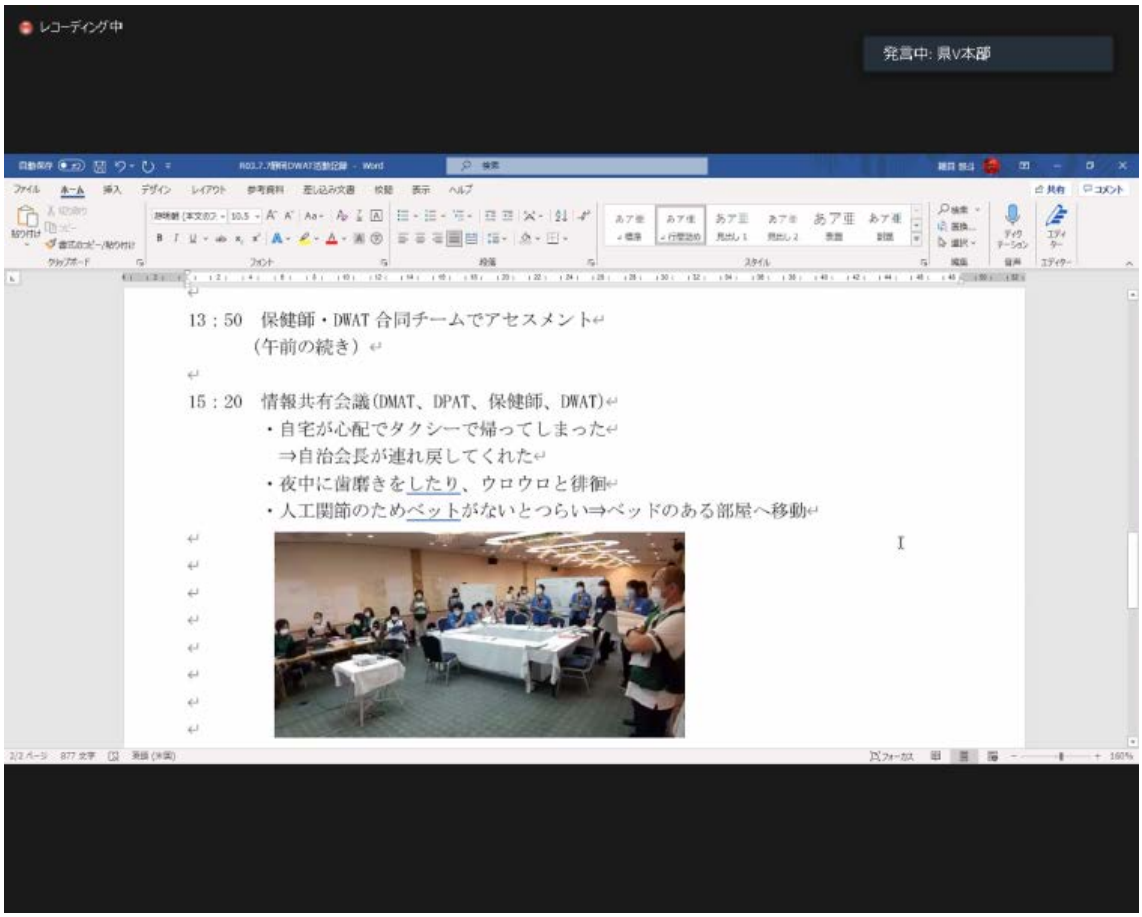
・避難者 490 人(部屋数：198 部屋)
・食事券(朝食、夕食)で人数と安否確認を行う
・薬(処方箋)の当番薬局を作成した(輪番制)
夜間対応の看護師から申し送り(7/6 夜から看護師３名が夜間対応)
(避難者からの相談)
・寝れない。普段の血圧は 140 台だが測ると 190 台であった。
⇒日中の診察での受診をお願いした
・便が出ない⇒摘便をする

11：00　保健師・DWAT 合同チームでアセスメント（３チーム）

レコーディング中

発言中: 県V本部

・寝れない。テレビをつけていると情報が入ってきて気になってしまう。
・酸素吸入(HOT)あり、食堂まで行けず親戚にパン、おにぎり等の購入をお願いしている。⇒弁当の手配をする
・和室で段差がなく起き上がりがしんどい。
・３人暮らしで知的障害あり、日中通っていたところは行けない
・息子の職場は小田原で行けていない
・耳が聞こえにくくピンポンも聞こえない。部屋の中に入って話をしてほしい。
・両親がうつ病
・母親が認知症でホテルに来てから症状が悪くなった。


レコーディング中
発言中: 県V本部
13：50　保健師・DWAT 合同チームでアセスメント
（午前の続き）
15：20　情報共有会議(DMAT、DPAT、保健師、DWAT)
・自宅が心配でタクシーで帰ってしまった
⇒自治会長が連れ戻してくれた
・夜中に歯磨きをしたり、ウロウロと徘徊
・人工関節のためベットがないとつらい⇒ベッドのある部屋へ移動

県V本部 会場 の画面を表示しています
オプションを表示
表示
発言中:
第1回
ふじのくに災害支援者会議
2021.7.9　16:30～17:30
静岡県災害ボランティア本部・情報センター
JVOAD@明城 から全員に
ありがとうございました
ミュート解除
ビデオの停止
参加者
チャット
画面の共有
レコーディング
リアクション
退出

４．説明、発言内容

〇熱海市では立ち入り禁止区域を設けており、二次災害の可能性が高く、
V 活動は本格的ではない。

〇7 月 5 日 13 時に熱海市災害ボランティアセンター開設。
V 募集は、Web からの事前申請方式。現在、登録 2,800 名（700 名は熱海市市民）　V 保険未加入者が 9 割、手続きが止まっている。

〇熱海市土石流被害地域は立ち入り不可だが、ニーズ調査は条件付き可。
重機 V など専門 V がニーズ調査に参加。

〇熱海市は地域の結束が強く、地域自治会等が V より早くに活動を開始。

〇物資は集まっているが、運搬等配布ができず現在止めている。

〇移動支援で地元の自動車学校が手を挙げて、高齢者の運搬を行っている。

〇遺品などの洗浄ニーズが高くなる。

〇ホテル 2 カ所に避難中。
洗濯機支援の申し出があるが、ホテル内設置の手続きが煩雑。

〇今回の災害の特徴。

・危険性が高い。　V の活動が制限される。

・グラデーションがない。
土砂流出の災害地域の広がりがない。熱海は海岸まで一直線。
このため清掃、土砂出しのニーズが少ない。約 3,000 名が V 登録しているが活動案内ができていない。

・重機 V など専門性が必要な分野の需要が高い。
危険区域に入らないで活動できる V 活動が今のところ少ない。

〇災害 V センターについて。

・JVOAD、日赤、各 NPO 団体に協力をいただいているが、重機ニーズや NPO 対応のセクションを作る必要がある。

・自動車学校など地域の企業との連携が必要。

〇大規模な V 活動はまだまだ先。危険区域がなくなるのは 1 か月後か。

５．提供資料　・・・　静岡県災害情報

7 月 6 日現状の被災地の状況になります。
今回の大雨による被害について、熱海の土石流の状況はかなりひどい状況なのですが、他は富士市、沼津市で床上・床下浸水が数十件ずつあるような感じです。静岡県内の団体・社協がかなり情報把握に動いていますので、そこから情報取る形で進めています。
今後は、静岡県ボランティア本部（県社協と静岡県ボランティア協会）と話をしながら、場合によっては人を出すこともあるかと思っています。
今後、現地で技術的な支援を行う団体の窓口を置く案も出されており逐次情報共有させてください。
また、先日、静岡県ボランティア本部の情報共有会議がおこなわれました。
そこで話された主な情報は以下の通りです。
●熱海
・本日、県 V 本部から現地入り。
・一般車両はまだ入れない。
・市 VC は月曜日に立上げ予定。まずは受付を始めるが、ニーズはまだ挙がってきていない。
・駐車場などの確保も課題
・避難所は、今日ホテル 2 か所に集約された。うち 1 か所は 350 名とのこと
・もう 1 か所は道路などの事情により避難していて、帰れる可能性のある人が避難しているホテルとのこと。・食事は朝夕提供されている
・DWAT は現時点では出出る予定はない
・土石流はメガソーラーが原因ではなどの噂がある
・市と協定を結んでいる業者の重機が出ている
●沼津市
・被害があるのは原地区というところ。
・件数は未定だが、床上 20~30 ㎝で泥無し、床下だが泥アリの地域があるとのこと。
・VC の予定は立てていない（市の対策本部が立ち上がるのが条件だがまだ立ち上がっていないので・・・とのこと）
・他の地域の被害が小さいため、市内で対応可能ではないかとの認識
●富士市
・昨日 200 件程との情報だったが、現地確認の結果 30~50 件程度とのこと
・泥は無い
・市・市社協・町内会などと連携して対応している模様
・家屋対応の講習会なども検討している
・通常 VC でいくか、災害 VC にするか、検討中

以上となります

６．その他提供情報

〇災害時のボランティア受入れ手引き（静岡県　平成 25 年度改訂版）

災害時受入手引き.indd (pref.shizuoka.jp)

〇静岡県災害ボランティア本部・情報センターHP

https://shizuokavc.jp/

〇静岡県災害ボランティア本部・情報センターFB

https://www.facebook.com/shizuokavc/

以上